

## 産業構造審議会 保安分科会 火薬小委員会 特則検討ワーキンググループ（第2回）-議事要旨

日時：平成26年9月22日（月曜日）15時00分～17時20分

場所：経済産業省別館1階104各省庁共用会議室

### 出席者

新井座長、飯田委員、栗原委員、佐久間委員、中山委員、畑中委員、松尾委員、三宅委員

### 議題

1. 火薬庫の最大貯蔵量に係る特則承認について
2. その他

### 議事概要

#### 1. 火薬庫の最大貯蔵量に係る特則承認について

- ・ 議事運営規程に基づき、資料配付はメインテーブルのみとし、資料の公表については、特定の技術内容等の箇所を一部非公開とした上で行うことで了解された。
- ・ まず、事務局から概要を、申請者等から詳細な内容を説明した。

#### 委員

SRB、SRB-Aの直径はどの程度か。

#### 説明者

2.5～3m。

#### 委員

それぐらいなら爆ごうの危険性は小さい。資料では、どのくらいの径では爆ごうしない、というような内容のものにして欲しい。

#### 委員

燃焼速度が1.2倍とあるが、エネルギー放出量等についてはどのくらいで評価しているのか。

#### 説明者

トータルエネルギーとしては、逆に小さくなる。

#### 委員

打上スケジュールについて、打上延期の際は火薬庫に戻るとのことだが、10本を越えることは無いのか。

#### 説明者

10本を越えることはない。所内保有量が10本の時に打上延期となってしまったら、生産を止めることになる。

#### 委員

生産計画として10本必要というのであれば、そのような申請内容とすべきである。

#### 委員

過去に屋根をコンクリート造りとした理由如何。さらに、一部土堤を省略することの安全性評価に二級火薬庫の技術基準を準用する根拠を教えて欲しい。

#### 説明者

屋根をコンクリート造りとした理由は、ロケットの破片飛来等の高いハザードと考慮した結果。二級火薬庫については、土堤を省略した際の保安距離は2倍必要となる技術基準を今回の安全評価の一つとして示したものだ。

#### 委員

くっつけて貯蔵すると、（みなし）径が大きくなるため、貯蔵方法（3mの間隔を空けて貯蔵すること等）を何らかの形で明記して欲しい。

#### 委員

防災体制について、何を想定しているのか。

**説明者**

明細資料にあるが、災害のシナリオを想定し、体制を敷いている。

**委員**

どのくらいのシナリオを想定しているのか。

**説明者**

火災、人身事故について。

- 委員からの指摘事項については座長預かりとされ、安全性が確認され次第、特則承認に関する必要な手続きが行われることとされた。

---

## 2. その他

---

- 議題2「その他」については、議事運営規程に基づき、議事及び資料、議事録を非公開とすることで了解された。

### 関連リンク

産業構造審議会 保安分科会 火薬小委員会 特則検討ワーキンググループの開催状況

### お問合せ先

商務流通保安グループ 鉾山・火薬類監理官付

電話：03-3501-1870

FAX：03-3501-6565

---

最終更新日：2014年10月3日